

村民の融和と団結をはかり 明るく豊かな村づくり

上村は、熊本県の南部、球磨郡の東南端に位置し、南は宮崎県西諸県郡と接し、東は岡原村、北は免田町、西は錦町とそれぞれ隣接する農山村で、面積九十九・〇一平方キロメートル、人口六千五百十五人で、南部に標高千四百七十七メートルの白髪岳を中心とする山岳が連なり、

一帯は自然性の高い天然林で、樹齢二百年生以上にも及ぶ原生林が形成され、標高千三百メートル前後を境として、下部にはモミ、ツガ林、上部にはブナ林が発達し、秋は紅葉が美しく、春は雲海または草花、夏はキャンプ等四季折々の美観は万人が賞賛するところである。

本村は第一次産業が約五〇パーセントで、米、畜産、タバコ、イ草、メロン、養蚕が盛んで、林産物としては木材、椎

茸、木炭、竹製品がある。

十一月三日は村祭で、三日を中心として三日間、村では産業文化祭が催され、農畜産物をはじめ、農協、森林組合、商工会、婦人会、青年団、老人会等の各種出品展、即売会があり、その他民芸品、小中学校の作品展、役場の行財政資料、郷土芸能、神楽、伝統芸能、相撲、古典園芸等盛大に催される行事が組まれている。村民がふるさとを見なおし、村民相互の連帯感づくりに資する最大の行事といえよう。

村内には小・中学校三校、保育所三ヶ所、幼稚園一ヶ所、県立球磨農業高校、県農事研究センター、郡畜協の雌雄牛センター、村の家畜管理所、中央公民館、

郷土資料館、村民運動公園等の各公共施設があり、中でも村民運動公園には、千三百二十平方メートルの体育館、ナイター施設、テニスコート、ゲートボールコート、アスレチック等村民の運動公園として、老若男女子供にいたるまで日夜活用されている。

また免田川上流には、多目的ダムとして県営の清願寺ダムが建設され、昭和五十四年度で本工事が完了し、現在南部台地の畑地かんがい用の幹線排水路が敷設中で、昭和五十七年度にはこれが完成し、三百五十ヘクタールの畑地にスプリンクラーによる畑地かんがい排水がなされ、シヨウガ、里芋、スイカ、メロン、野菜、飼料等の作物が円地形成され大都市消費地との流通機構を図り、農業収益の拡大がなされるのもそう遠い日ではない。

農業基盤整備もほぼ九〇パーセント終わり、適地適作の作目選定のため、昭和五十四年度より実証圃地を個人に委託して、村と農協、県が合同で指導しながら実施されている。



▲ほ場整備の状況と白髪岳



▲上村特産塞ラン展



◀椎茸の栽培も盛ん



▲日本七薬師の一つ薬師如来

昭和五十三年度より二ヶ年計画で、広報無線をとり入れ、全村に屋外スピーカの設置を完了し、農事放送をはじめ、行事のお知らせ、災害時の連絡等自動的に放送が可能で、今後は、農業技術指導にも大いに活用されるものと思う。以上上村の現況を簡単に述べましたが、緑に囲まれた美しい自然や、受け継がれた伝統文化に根ざした温かい人情と心と心がふれあい、村民の融和と団結をはかり、明るく豊かな村づくりに邁進しています。